

独居・ねたきり高齢者家庭の防災訪問

1 目的

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く）は高齢者（65歳以上）が半数を超えていることに鑑み、住宅火災の未然防止及び住宅火災による高齢者の死傷事故を減少させることを目的とする。

防災訪問の対象は「独居高齢者家庭」及び「在宅ねたきり高齢者のいる家庭」とし、民生委員、女性消防団員の同行により、地域住民の協力体制の充実ときめ細かな防火指導を行う。

2 実施日時

平成24年11月1日（木）～15日（木）9時00分から12時00分
※日曜日・祝日は除く

3 実施機関

松山市中央・東・南・西消防署

4 協力機関

松山市民生児童委員協議会
松山市消防団（女性消防団員）

5 訪問予定人数

独居高齢者・ねたきり高齢者（在宅） 1,000名程度

6 防災訪問の主眼点

- (1) 住宅用火災警報器の設置促進と維持管理
- (2) 石油燃焼機器等、火気使用器具の安全な取扱いについて指導
- (3) 住宅用消火器や防災製品など住宅用防災機器等の普及促進
- (4) 住宅防火診断の実施
 - ① 火災危険個所の排除
 - ② 寝たばこの防止と就寝前の安全確認
 - ③ 宅内避難経路の確保と安全な避難方法の確認
- (5) 地震等の災害への備えについて指導

※ 取材を希望される報道機関は取材場所等の調整が必要なため、必ず10月29日（月）午前中までにご連絡ください。

なお、取材日は11月1日（木）の午前中とさせていただきます。

林野火災防ぎょ訓練

1 目的

この訓練は、秋の行楽シーズンを迎え入山者の増加が見込まれることや、発生が懸念される南海地震に備え、松山市総合防災訓練（分散型訓練）が実施されることに伴い、山間部で大規模な火災が発生したとの想定に基づき、松山市東消防署及び松山市消防団第7・5方面隊が合同で、火災防ぎょ（中継送水）訓練を行い、林野火災予防対策の推進、警防技術の向上及び現場活動における相互の連携強化と、協力体制の確立を図ることを目的とし実施するもの。

2 実施日時

平成24年11月4日（日） 9時00分から11時30分

3 実施場所

松山市野外活動センター（松山市菅沢町）

4 参加者・人員

松山市消防団第7方面隊	100名	消防車両5台、赤バイク	1台
松山市消防団第5方面隊	80名	消防車両4台、赤バイク	1台
松山市東消防署	10名	消防車両3台	
参加人員	合計	約190名	

5 実施内容

- (1) 東消防署隊と消防団第7・5方面隊の連携による中継送水訓練
- (2) 施設内の林道におけるホース延長訓練
- (3) 指揮本部の部隊活動統制及び無線運用訓練
- (4) ジェットシューターの取扱い訓練

キッズ防火教室

1 目的

幼児期から正しい防火知識を養い、火遊び等による火災を防止するため、火災予防運動期間中の事業として、勝愛幼稚園にて「キッズ防火教室」と称して防火教室を行う。

2 実施日時

平成24年11月9日（金） 9時30分から10時30分

3 実施場所

学校法人 勝愛幼稚園（松山市土居田町841番地）

4 参加者・人員

勝愛幼稚園園児	約140名
消防職員	6名
参加人員	合計 約146名

5 実施内容

- (1) 避難訓練・消火訓練
- (2) 防火講話
- (3) 防火紙芝居
- (4) 防災ダック（防火防災に関する教育用のカードゲーム）
- (5) 消防車両の見学と防火服の試着
- (6) マスコットカーの試乗

老人福祉施設の火災防ぎょ訓練

1 目的

本訓練は、「秋季全国火災予防運動」行事の一環として、グランドライフ衣山自衛消防隊、公設消防隊及び地域住民が一致協力し、迅速かつ効果的な救出救護活動が実施できるよう、相互の連携力及び組織活動を強化するとともに、防災機関への協力体制を確立し、事業所及び地域住民の防火防災意識の高揚を図ることを目的として実施するもの。

2 実施日時

平成24年11月9日（金） 10時00分から11時00分

3 実施場所

介護付有料老人ホーム グランドライフ衣山（松山市衣山5丁目8番1）

4 参加者・人員

グランドライフ衣山	60名
味酒地区自主防災会	20名
事業所消防団員（ネッツトヨタ瀬戸内チーム）	10名
〃（フジファイヤーチーム）	10名
松山市消防団女性分団	3名
松山市消防団味酒分団	20名（車両1台）
松山市中央消防署	30名（車両6台）
参加人員	合計 153名

5 実施内容（想定）

平成24年11月9日（金曜日）9時50分頃、南海トラフを震源とする震度6強の地震が松山市内で発生し、グランドライフ衣山（5階建）1階調理場より出火、自衛消防組織による初期消火及び避難誘導が実施される。なお、先着した事業所消防団員により、入所者の避難誘導が実施されたが、建物内3階に1名、4階に1名、5階に1名の入所者が取り残されている状況である。

一日通信指令室長による広報・啓発活動

1 目的

消火・救急・救助活動は、1分1秒を争う時間との勝負である。確実性を確保するには、市民からの的確な119番通報が必要不可欠であり、その後の迅速・的確な消防活動に繋がる。

そこで、本来災害発生時に使われるべき緊急電話のあり方、また、その的確な通報要領を広報するとともに、「119番」は私たちの生命・財産を守る大切な緊急電話であり、救急病院等各問い合わせについては、専用テレホンガイド等の利用を促す。

以上のことについて、市民に対し理解及び認識させることを目的として実施するものである。

2 実施日時

平成24年11月9日（金） 14時00分から16時00分

3 実施場所

坊っちゃん広場（松山市湊町5丁目1-1）

松山市消防局5階通信指令課（松山市本町6丁目6-1）

4 参加者・人員

一日通信指令室長 1名ほか

愛媛マンダリンパイレーツ ますくまん・マッピー

防災カバーくん（松山市消防局マスコットキャラクター）

松山市消防局 11名

（消防局長・消防局企画官・消防局広報監・通信指令課員）

参加人員 合計 約15名

5 実施内容

（1）一日通信指令室長

- ・ 一日通信指令室長委嘱式
- ・ 模擬119番出動指令体験
- ・ 通信指令室勤務状況視察

（2）広報・啓発活動

- ・ 119番通報装置による市民への通報要領指導
- ・ モバイル松山消防普及啓発活動
- ・ 啓発ティッシュ・ステッカー配布

中野町自主防災会防災訓練

1 目的

この訓練は、住民の防災意識の高揚はもちろんのこと、地域全体の連帯感を高め、地区の防災力の向上に役立てることを目的とする。

2 実施日時

平成24年11月11日（日） 10時00分から12時00分

3 実施場所

中野公園（松山市中野町）

4 参加者・人員

中野町自主防災組織	100名
松山市南消防署員	4名
参加人員	合計 104名

5 実施内容

- (1) 参集訓練
- (2) 消火訓練
- (3) AED取扱い訓練
- (4) 住宅用火災警報器普及啓発
- (5) 防災クイズ

北齋院町味生団地自主防災会防災訓練

1 目的

東日本大震災の記憶はまだ新しいところであり、東海・東南海・南海地震も30年以内に発生する確率が50～70%と高い今日、防災マップを活用して自分たちの住んでいる地域を再確認し、東日本大震災の被害状況を通じて危機意識を高め、さらには自主防災組織の防災力の向上を図る。

2 実施日時

平成24年11月11日（日） 10時00分から12時00分

3 実施場所

中津西集会所（松山市北齋院町）

4 参加者・人員

北齋院町味生団地自主防災会	150世帯
松山市西消防署員	3名
<hr/>	
参加人員	合計 約153名

5 実施内容

- （1）防災マップについて
防災マップを活用し、居住地域の危険箇所等を再確認する。
- （2）東日本大震災についての講話
被害状況等について話を聞き、写真で見ることで危機意識を高める。

石油コンビナート防災訓練

1 目的

大規模地震の発生を想定した、液化天然ガス大量集積工場における総合的な災害防ぎょ訓練を実施し、工場内の施設・設備の状況を把握するとともに、有事の際の基本的な行動を習得することにより、迅速かつ的確な消防活動に資することを目的とする。

2 実施日時

平成24年11月13日（火） 13時30分から15時00分

3 実施場所

四国ガス(株)松山工場（松山市大可賀3丁目1460番）

4 実施機関

松山市消防局
松山市西消防署
松山市消防団
松山海上保安部
松山西警察署
松山地区共同防災協議会
松山地区排出油等防除協議会

5 実施概要

南海トラフを震源とする大規模な地震が発生し、松山市で震度6強を計測（陸上訓練）

訓練1：災害発生時の対策本部の設置、情報収集、通報等の初動対応訓練

訓練2：タンクローリーの充填場、液化天然ガス貯蔵の出火対応訓練

訓練3：負傷者救出訓練

訓練4：避難及び避難誘導並びに広報活動訓練

（海上訓練）

訓練1：液化天然ガスタンカー荷卸し中の液化天然ガス漏えい対応訓練

訓練2：液化天然ガスタンカーの出火対応訓練

訓練3：海水利用型消防水利システム（通称：スーパーポンパー）による消火訓練

訓練4：液化天然ガスタンカーの緊急離岸訓練

福祉施設の防災担当者を対象にした119番通報セミナー

1 目的

福祉施設等からの緊急通報は、入所者の安全・安心に直接関係するものであり、的確な119番通報が必要不可欠であり、その後の迅速な対応につながるため、当セミナーを受講することにより、通報者側及び受信者側の連携を深め、相互理解及び知識の習得に努めることを目的として実施するものである。

2 実施日時

平成24年11月14日（水） 13時00分から15時00分

3 実施場所

防災センター6階 大会議室ほか（松山市萱町6丁目30-5）

4 参加者・人員

福祉施設防災担当者	約100名
松山市消防局通信指令課員	7名
参加人員	合計 約107名

5 実施内容

- (1) 建物用途別119番通報要領
 - ① 高齢者施設1（中～大規模）
 - ② 高齢者施設2（小規模 グループホーム）
- (2) 質疑応答・意見交換

みんなの消防フェスタ2012・防災士シンポジウム

1 目的

広く市民に防火・防災について関心を深めてもらい、安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指すことを目的に開催するもの。

また、消防団や自主防災組織の活動報告等を通じて地域防災力の充実強化の必要性を広く住民に啓発するため、本フェスタに併せ、防災士シンポジウムを開催し、全国で精力的に活動されている防災士3名による活動事例の紹介や南海地震に対する備えについてのパネルディスカッション等を実施するもの。

2 実施日時

平成24年11月23日（金・祝） 10時00分から17時00分

3 実施場所

松山市総合コミュニティセンター（松山市湊町7丁目5）

4 参加者・人員

（1）参加機関

松山市・松山市女性防火クラブ連合会・松山市消防団・
松山市自主防災組織ネットワーク会議・松山市防火連絡協議会・
松山市幼年少年女性防火委員会・（財）日本防火協会

（2）参加人数

約10,000名

5 実施内容

（1）フェスタ

- ・ 式典(表彰式)
- ・ 消防車両展示
- ・ 消防体験・防災機器の展示
- ・ 住宅用火災警報器の普及啓発
- ・ フリーマーケット等

（2）防災士シンポジウム

- ・ 活動事例紹介
- ・ パネルディスカッション

担当 警防課 電話 926-9218
予防課 電話 926-9245

女性防火クラブ員による大型スーパーでの防火啓発

1 目的

火災の発生しやすい時季を迎えるにあたり『自分の家から火事を出さない』、また、『自分たちの町から火災を出さない』を合言葉に、市内各所で防火広報を実施するとともに防火啓発用ティッシュ及び住宅防火啓発用パンフレット等を配布して、市民の火災予防思想を一層高揚させることを目的とする。

2 実施日時・場所

- (1) 防火啓発用ティッシュ及び住宅防火啓発用パンフレット等の配布
 - ・ 平成24年11月12日(月) 11時30分から12時00分
フレッシュバリュー松山店・フジ垣生店
 - ・ 平成24年11月12日(月) 14時00分から15時00分
フジ夏目店
 - ・ 平成24年11月14日(水) 14時00分から15時00分
スーパー日東食鮮館・フジ和気店
- (2) 横断幕掲示
 - 平成24年11月8日(木) 16時00分から
 - 11月16日(金) 12時00分まで
 - フジグラン松山店・パルティフジ衣山店

3 参加者・人員

女性防火クラブ員 約20名

4 実施内容

- (1) 大型スーパー等での防火・防災啓発(チラシやティッシュの配布)
- (2) 横断幕掲示
- (3) 広報車による防火広報

防火俳句の公開展示

1 目的

第15回俳句甲子園で優秀な成績を収めた松山東高等学校・済美平成中等教育学校の生徒が作成した防火に関する俳句を公開し、広く市民に火災予防を啓発するもの。

2 実施日時・場所

(1) 展示場所

松山市役所1階ロビー（平成24年11月9日（金）～11月15日（木））

松山市総合コミュニティセンター（平成24年11月23日（金・祝））

(2) 電光掲示板による放映（平成24年11月9日（金）～11月15日（木））

- ・ J A愛媛マルチビジョン（南堀端町）
- ・ 大街道キャッスルビジョン（愛媛銀行大街道支店前）
- ・ 銀天街ギャラクシービジョン（銀天街西側入口）

3 参加校・点数

松山東高等学校	5点
済美平成中等教育学校	5点

4 実施内容

(1) 防火俳句10点を1句ずつ専用用紙に松山東高書道部が筆で書き、フィルム加工したものを松山市役所1階ロビーに展示

(2) 電光掲示板（J A愛媛マルチビジョン・大街道キャッスルビジョン・銀天街ギャラクシービジョン）による放映

(3) みんなの消防フェスタ（コミュニティセンター）にて展示

(4) 平成25年1月1日号の消防広報紙（消防ネットまつやま）に掲載予定

住宅用火災警報器の設置・維持に関する啓発 及び防火広報の集中的な実施

- 防火ポスター・住宅用火災警報器設置啓発ポスターの配布・掲示
- 市広報紙・ホームページへの記事掲載
- 市内各所への火災予防横断幕・懸垂幕の設置
- 大型物販店舗、総合病院、交通機関等での防火放送
- 女性防火クラブ員による大型スーパーでの防火広報
- 大型映像表示装置による防火広報
- CATV・ラジオによる事前広報
- まつやまインフォメーション電光サインによる防火広報
- 地域貢献型自動販売機のメッセージボードによる防火広報
- モバイル松山消防による防火啓発メールの配信
- その他各種情報端末による防火広報

1 目的

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、各種媒体を通じて集中的に防火広報活動を実施することにより、各広報の相乗効果が期待でき、市民の火災予防思想を効率的に高揚させることを目的とする。

2 実施日時

平成24年11月9日（金）～11月15日（木）

3 実施場所

- (1) 市役所庁舎
- (2) アーケード街
- (3) 市内各所大型映像表示装置
- (4) 百貨店及び大型物販店舗
- (5) 総合病院
- (6) 市内各交通機関

ほか、市内一円で実施